

●とびくす●

がんばれフレッシュ建築士 二級・木造建築士免許証交付式

1月24日、県庁において二級・木造建築士の免許証交付式が行われ、19名の新建築士が出席しました。

今年の二級建築士の合格者は24名（受験109名）で、合格率は約22パーセントでした。

また木造建築士の合格者は1名（受験2名）でした。

初めに、県の高島浩住宅課建築指導室長から、過去に基礎杭や免震装置など建築士に関わる大きな社会的事件があった一方で、熊本地震などにおいては応急危険度判定士として活躍するなど社会の要請も大きいので、その期待に応えられる建築士になってもらいたいとお話がありました。

続いて、免許証の授与が行われ、二級建築士の代表として金磯牧夫さんが、また木造建築士の丸山龍さんが高島室長から免許証を受け取りました。

続いて本会の笠井義文会長が、お祝いを述べるとともに、建築士としての情熱を持ち続けるためには、今後も勉強を続けることと仲間を増やして一緒に学んでゆくことが大切だと激励の言葉を贈りました。

次に、建築士事務所協会の松永史朗会長から、資格を持つことの大切さと、災害が増えており建築士としての

役割はますます重要になっていることから、いざというときに社会の役に立てるように努力してもらいたいとお話がありました。

次に、建築指導室の美野英司課長補佐から「建築士の心構について」と題して、建築士として責任ある仕事をするとともに誠実な業務を心がけるようにとの訓話がありました。また、応急危険度判定士の派遣に関して、建築士会の講習の案内もありました。

続いて本会から梶哲也青年委員長が登壇し、士会活動の紹介があり、その後、各地域会の青年部の代表が個別にそれぞれの地域会への入会を勧めました。

この結果、次の方々が新たな仲間として会員登録されました。

加 賀 美大介さん	白 木 康 雄さん
武 田 健 斗さん	虎 尾 朱 里さん
福 田 裕 子さん	山 本 好 幸さん

みなさんも、新建築士を見かけたら、積極的に勧誘してみてください。



建築士免許証の授与



新しく建築士となった方々



笠井義文会長の祝辞



梶青年委員長による士会活動の説明



各地域会青年委員会による個別の勧誘活動

●ほっとにゆうす●

県内交流会 in 川島地域会に参加して

川島地域会 梶本 真也

先日11月30日、県内の交流会に初めて参加させていただきました。

最初案内が来たとき、東京でマリオカートみたいな着ぐるみを着て、乗っているのはTVで見たことありますが、自分はカートに乗ったこともなく、普段経験できないような楽しそうな内容だったので、すぐに日程を確認して参加の申し込みをしました。

当日はカートランドに到着するとインプレッサのステッカーが色々貼っている車やオープンカーが待機していました。



です。ベストタイムを競います。パイロンと呼ばれるコーンがコース上に置いてあり、ターンやスラロームなどの走行技術や、タイムロスを防ぐための走行ラインの取り方といった技術が必要です。」

同乗走行体験で助手席に乗り込み走ってもらったのですが、急加速で発車したり、パイロンに当たらないようにドリフトしたり、すごい迫力でした。普段車に乗って重力を感じることは少ないですが、スタートは内臓が持つて行かれるような衝撃とドリフトは少し気持ちが悪くなるような感覚でそれも含めて非日常体験でした。



話を聞いてみると、広島建築士会から参加されました。徳島から以前何名か広島にカートの交流会に参加されたので、徳島の交流会にも参加されたとのことでした。建築士会の県をまたいだ交流素晴らしいですね。

ジムカーナという名前も知らないまま参加したのですが、皆さんご存知ですか？

ジムカーナとは「タイムを競うモータースポーツ競技

その後チームに分かれて、自分たちがカートに乗りました。5分間隔で交代しながら2回ほど乗りました。1回目はなかなか前の人を抜くことに慣れていないので、スピンしないように、割と安全運転で周回していたのですが、2回目はちょっと要領もつかんできたので、カーブあたりで減速そこで曲がってから抜けるかなと思ったら、抜くことができました。それからは何度かスピンして、結局後ろの人に抜かれちゃいました。慣れている方はカーブもあまり減速せず、結構際まで大回りしたり、皆さん楽しんでいました。

天候にも非常に恵まれていたので、夕方までは快適に乗れてとても楽しかったです。日程も紅葉の時期だったため、風景もとてもきれいで良かったです。

その後、個人のカート記録の表彰があって、板野地域会の高木さんが優勝されました。おめでとうございます。最後に梶様、井内様、蓑田様、竹内様はじめ準備をしていただいた皆様、どうもお世話になりました。

●ほつとにゆうす●

壮年部県内交流会・景観模型づくりワークショップに参加して

徳島地域会 賀好 義典

令和元年12月7日、徳島市しらすぎ台まちづくり活動センターにて壮年部県内交流会が、師走でお忙しい多くの参加者のもと滞りなく行われました。壮年部の一員として師走でお忙しい中ご参加していただき御礼を申し上げます。

さて、今回は株式会社フクブル・代表取締役店主の福岡 健さんによる「家こわし（解体）」についての勉強会となりました。

まず、福岡さんの自己紹介、家族の紹介を、ユーモアを交えた巧みな話術で会場をなごませ、福岡ワールドへと参加者を引き込んでいきます。

今、話題の空き家、危険家屋の問題、街中に密集する雑居ビル等の問題を細かく解説したうえで、解体の手法から解体見積書の見方、重機の説明まで、自らの経験から得た知識を惜しみなく参加者にわかり易く解説されていきました。

また、最近ではドローンを使用し対象物の調査にも尽力されているとのことで、解体に使用される機器類も時代と共にハイテク機器が導入されていることを知りました。

交流会の最後、場外に準備された解体に使用する重機のデモンストレーションでは、以前テレビ番組で取材を受けた「スパイダーロボ」の実演を受けました。その機

動性は従来の重機の動きとは違い縦横無尽に動けることに衝撃を受け、今までの概念を覆され交流会が終了したことを鮮明に覚えております。

令和元年12月22日、シビックセンターにて、徳島市都市政策課主催の徳島市景観まちづくりセミナーの一環で「景観模型づくりワークショップ」を建築士会も協力させていただき開催しました。

今回このセミナーでは、建築士会のメンバーがカットした木材で、子供さんに好きな形状をした建築物の模型を制作していただき、街をイメージした大パネルの上に模型を並べて、住み良い街並みを創ることをテーマに、自由な発想で取り組んでいただきました。

建築士会のメンバーも子供たちが模型を創るお手伝いをするなかで、大人顔負けの模型を作る子供もいて発想の柔軟さ創造力の豊かさに感心させられました。

約70名の子供たちが制作した模型の街並みは、市街地、郊外、産業地域と分けられ、未来の街づくりに寄与するものと確信しました。

今回、参加できなかった建築士会の方々にも、壮年部は魅力的な交流会並びにセミナー等を計画していきますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

●地域会だより●

地域会だより

阿南那賀地域会 阿古目 康佑

阿南那賀建築士会の活動報告をさせていただきます。私たちは昨年、下記の日程で阿南市内の小学校に木育出前授業を行いました。

- ・2019年1月30日 津乃峰小学校
- ・2019年9月6日 横見小学校
- ・2019年11月26日 今津小学校
- ～2020年1月時点での今後の予定～
- ・2020年1月21日 富岡小学校
- ・2020年3月18日 橘小学校

木育出前授業とは私たち阿南那賀建築士会が、木を使い、木を通じて子供達に木を扱う仕事や職人の仕事について、座学で想像・確認したことを体験学で実際に見て触れて楽しみながら学んでもらおうというテーマを掲げ、阿南市内の小学校高学年の子供達を対象に、各小学校へ出向き、授業を行う活動です。子供達がこの授業を通じてまずは建築業界の仕事を知り、そして実際に仕事内容に触れてもらうことで将来社会に出る時に建築業界が選択肢の1つとなること、建築業界に興味を持つきっかけとなることを目的に行っている活動です。



小学校で行う授業の内容としては、座学と体験学を半分ずつの割合で実施します。前半の座学では日本古来の建築物のことや、昔の職人さんたちはどのようにして垂直や水平を測っていたのか。また、現在ではどのような方法で垂直や水平を測っているのか。そして、一戸建ての家はどのようにして出来上がっていくのか。と言った内容を子供達に説明していきます。少しでも、子供達に興味を持ってもらえるように実際にちょっとした作業を子供達と共に行い、皆で確認する。ムービーを上映する。というような体験を通じて楽しかったという記憶が残るような工夫や、各回の子供達の反応を見ながら授業内容のアップデートも行っております。

後半の体験学では、前半の座学で学んだことを元に、実際に体育館等で約2m×4mの模型を、墨出し→土台

→柱建→梁→筋違→小屋束→母屋→棟と子供達と共に実寸大の材料を使いながら模型造りを行います。



模型造りでは、少し高いところに上ったり、高い場所で歩いたりする場面も出てきます。子供達の中には不安気な子もいたり、柱や梁を叩く際に木づちを持って、「重たい」「上手く叩けない」という声が飛び交う中、スタッフが高い場所を慣れた様子で歩く姿や、木づちで打ち込む作業を手伝ったりしている姿が「カッコ良かった」「模型造りが楽しかった」という感想が子供達から出てきた時はやりがいを感じ嬉しく思います。

授業の最後には出来上がった模型を使って子供達には記念撮影をし、最後に子供達に木で何かを作ることを楽しんでもらおうと簡単に作れるような木製工作キットのプレゼントもしています。

木育出前授業は事業を開始してから本年度で6年目を迎えます。昨年は地元ケーブルテレビの取材も受け、出前授業を希望して下さる阿南市内の小学校も有難いことに増えて参りました。本年は生徒数の多い小学校への対応も可能とする為に体験学用の模型も増作し、更には建築士会のスタッフ数も増員することで1校でも多くの小学校へ出前授業を行えるよう今後も続けていきたいと思っています。



●あなたが出番●

違和感を楽しむ (違和感 yeah !)

男女参画委員・徳島地域会 栗飯原 啓子

20数年前、建築士会に入会させていただき、講習会のみに参加する会員として過ごしておりました。子育てもひと段落した2年前、ランチ会にお誘いいただいたのをきっかけに建築士会に参加するようになりました。お誘いいただいた時には、がっつり建築してるような感じじゃなかったので、いえいえ、私なんて…と遠慮のカタマリで、とてつもない違和感を覚えたものです。イヤだなあ…と思いながら初めての会議に参加させていただきました。あれから2年、今回の原稿依頼をいただき、何を書くかな…と考えた時、笠井会長・高源男女参画委員長の万全の受け入れ態勢・懐の深さに甘えさせていただきながら、違和感満載だった会議や企画にもすっかり慣れたことに気づかせていただきました。

建築士会に参加するようになった頃ぐらいからでしょうか、いろんな場面でお声がかかることはお断りしないで、できるだけYes!の返事をしようと心がけるようになりました。(もちろん、No!もあります。)

それから、なんだかんだとお声をかけていただけるようになり(気のせいかな?)町内の婦人会(ボランティア)であったり、人としての勉強会であったり、自分が興味のある講習会であったり、アクティブに動かさせていたでいる中でも、やりたいこと・やらされてる(求められて)ことがごっちゃになり、自分を見失いそうになりながらも自分の枠が確実に広がっているなあ…と感じています。

人の無意識の領域で作られている枠(空間)【住空間とかじゃないです】の中で、楽な空間(コンフォートゾーン)と不快・違和感を感じる空間(ストレッチゾーン)があるのですが、めちゃめちゃイヤや!と思いながらもやってみる。するといつの間にか慣れてできることになっている。大人になってからは無理することはできるだけ避けてきたのですが、やらされてイヤイヤやることも“それもまあ経験か…”と受け入れられるようになってきました。(笑)この経験した時の感情が人としての深さになる財産かもしれません。

(直観で、あまりにも違うことはやらなくていいと思う。)

違和感をやってみる。1日を振り返って違和感がある

ことがあれば成長!できれば毎日やってみる。めちゃめちゃ成長してる!となるわけです。

そして、違和感だったことさえもが当たり前になりイヤだともなんともなくなる。すごい!

私の場合は、人前に出るのがイヤだったのだけど出ざるを得ない状況が続いたことによって、緊張が少しずつなくなってきた、仮装?までして、笑いをとれるまでに成長しました。(笑)(それいるかな?)

何がしたいかと申しますと、おそらく私と同じように建築士会活動に参加するのをためらってる方、士会関係なくても、何かやろうかどうしようか迷って考えてる方、生き方に刺激が欲しいかた(笑)、それぞれに事情がいろいろあるかと思えます。

そんな時は、“2秒でYes!ノーリスクなら全部やれ!”だそうです。これは、かなりハードルが高いかも!?ですが、この意気込みを意識するだけでも何かが変わるかも。です。

それにプラスして熱い人になりたい!というのが最近の私のテーマです。いつも楽しそうに見えるらしいのですが、本当は、リアクションの薄い私は熱量の高い人に憧れがあります。熱量の高い人にパワーをいただきたいのです。

人生折り返し地点を過ぎて、まだまだいろんなことに挑戦してみたいと思っています。人間力向上計画実践中!



(一番最近では、この方の真似をして笑いをとりました。(笑)その時の私の写真は割愛いたします。<m__m>)

●士会だよりー本部●

被災建築物応急危険度判定士資格認定（更新）
講習会のご案内

建築士会新規加入会員の方や資格更新の会員の方も、この機会に判定技術向上に努めましょう。今年度最後の講習会となります。参加無料。

申込は建築士会本部まで（☎088-653-7570）

■日時：令和2年3月7日(土)

午前9時30分～12時まで

■場所：徳島県建設センター3階会議室「菊の間」

（徳島市富田浜2-10）

●士会だよりー男女参画委員会●

男女参画委員会「冬の勉強会」

担当者：島田めぐみ

男女参画委員令和元年度最後の勉強会として、連合会女性委員会ですすめている事業『魅力ある和の空間』についての勉強会を開催したいと思います。

■日程 令和2年2月21日(金) 19:00～

■場所 建築士会会議室

■内容

- ・阿波のまちなみ研究会 2月例会と共同開催
- ・連合会ですすめている『魅力ある和の空間』WEB版の鑑賞
- ・徳島に存在する『徳島の魅力的な和の空間』について、長年研究調査されてきた阿波のまちなみ研究会のメンバーの方からレクチャーしていただく（林さん、喜多さん、坂口さんに依頼しています）
- ・ガイドブック推薦票の記載内容や書き方についての勉強

「まちけん」は、徳島県建築士会の中でも古参の研究会で長年に渡って地元徳島の建築・町並みについて研究・調査を行っています。その豊富な知見をお聴きするのは、たいへん勉強になると思います。今回の合同勉強会は、士会内の委員会・研究会の相互理解、相互交流を盛んにしていく先例になればと、坂口会長ならびに喜多さんから提案していただきました。

●士会だよりー本部●

「首里城再建支援金」口座開設のご案内

日本建築士会連合会からのご案内です。

さて、過日発生した首里城の火災におきましては、主要な建物が全焼し、琉球王国時代から伝わる貴重な収蔵品の多くが焼けるという大規模な惨事となりましたが、現在、沖縄県内ではあらゆる機関で首里城再建のための募金活動が行われていることから、この度沖縄県建築士会におかれましても、「首里城再建支援金」口座を開設されました。

そこで、その旨本会のHPに「首里城再建支援金」と見出しを付けて支援金専用口座を開設致しましたので、少しでも多くの募金が集まるようご協力をお願い申し上げます。

●士会だよりー建築士事務所協会●

「設計図書の電子的作成・保存の実務講習会」開催

建築士法では、「建築士が業務として作成した設計図書は15年間保存しなければならない」と規定されていますが、パソコンにCADデータやPDFファイルを保存しただけでは、法的な条件を満たしません。本講習会では、具体的な保存方法を解説いたします。

■日時 令和2年3月17日(火) 開講13:30～15:55

■会場 ポリテクセンター徳島 定員 50名（先着申込順）

■講習会費 事務所協会会員 2,500円

非会員 5,000円（いずれも、テキスト代込）

■申込先 (一社)徳島県建築士事務所協会事務局

TEL088-652-5862

※次回編集会議は2月20日(木) 16:30から

編集後記

- ・いつも風呂上りに水道水のシャワーを浴びて皮膚を鍛えています
が、今年は水が全然冷たくなくて拍子抜け。 (ノーリツ号)
- ・そうしろうデビュー (源子)
- ・デンキデビュー (ちりめん)
- ・皮膚がカサカサでかゆいです。 (ペペい)
- ・手荒れでヒリヒリ。 (ひとはたうさぎ)

建築士会本部行事案内

令和2年2月		令和2年3月	
7日(金) OA研	(士会会議室)	6日(金) OA研	(士会会議室)
〃 第3回中国四国ブロック会長会議	(士会会議室)	9日(月) 総務財務委員会(案)	(士会会議室)
8日(土)～9日(日) 中四国スキーツアー	(ハチ北高原)	11日(水) 住宅相談	(士会会議室)
12日(水) 住宅相談	(士会会議室)	12日(水) 理事会	(士会会議室)
13日(木) 建築士定期講習(DVD)	(士会会議室)	18日(水) 住宅相談員会議(セピア)	(士会会議室)
14日(金) 全国職員会議	(東京)	25日(水) 住宅相談	(士会会議室)
19日(水) 住宅相談員会議(セピア)	(士会会議室)		
21日(金) まち研	(士会会議室)		
26日(水) 住宅相談	(士会会議室)		

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午前10時から午後4時まで実施しています。

※ 住宅相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。